

令和6年度 豊里こども園 施設評価（評価分析と今後の課題）

職員の自己評価による		
1	教育保育の理念・方針・目標の理解について	法人の基本理念、教育保育方針そして目指す姿をほぼ全職員が理解・共感しており自己評価も高い。
2	教育保育について	一人ひとりの発達を踏まえた指導計画になっており、全ての職員が子どもの状況を理解し気持ちを十分くみ取って教育保育を行った。また、子どもの意欲を高める環境設定も全員が意識して出来た。環境衛生についても十分な配慮を行った。職員間の情報の共有や園長への迅速な報告も全員が出来た。常に子どもたちに自信を持たせるような言葉かけもほぼ全職員が出来た。
3	健康管理について	子ども達の日々の健康状態・体調に合わせた保育を全職員が行った。また、玩具等子ども達が触れるものへの衛生管理についても引き続き全職員が強く意識できている。 うがい手洗い等感染に対する予防も十分意識して出来た。
4	行事について	行事は子ども達の成長を促すものであるが、見栄えや完成度を問うものではなく、楽しんで行わなければ意味が無い。あくまでも子どもの育ち（成長）が目的であることを全職員が理解して行えた。その上でそれぞれの行事で子ども達は楽しみながら成長出来たと感じる事が出来た。
5	食育について	子ども達の食べる意欲が育つように楽しい雰囲気を作っている。調理担当者と子ども達がコミュニケーションを図れるように少しずつなってきた。
6	保健・安全について	室内や園庭の衛生・安全管理及び感染症対策は良く出来ている。また、職員は感染症予防のために感染リスクを抑えた生活ができた。
7	研修・研究について	キャリアアップ研修では申込みも抽選で外れ予定通りの研修は受講できなかった。オンライン研修が増え、休憩時間を利用して多くの職員が参加することができた。研修で学んだことを日々の保育に反映させ、子どもの育ちに生かすことも良くできている。
8	情報管理について	園児の個人記録は適切に作成・管理・処理ができている。利用者の情報についても守秘義務の徹底ができている。
9	設備について	ほとんどの職員が園内の設備を有効に大切に活用できた。掲示物についても、効果的になるよう掲示場所を工夫して出来た。
10	保護者支援について	すべての職員が送迎の際に子どもの1日の様子を伝え、保護者とコミュニケーションを図ろうとしている。連絡ツールも有効に活用できている。入園時の個別面談も効果的に活用できている。また、入園児以外の子育て支援について意識できている職員はまだ少ない。

11	開かれた園作りについて	<p>保護者から子育てについての相談を受ける職員が増えた。職員一人ひとりの保育知識と技術そしてコミュニケーション能力が高まってきたと思う。医療機関や療育支援施設との連携は対象児童の所属しているクラスの者はよく出来ている。散歩中に出会う地域の方への挨拶は職員全員が明るく出来ている。</p> <p>社会貢献活動として行っている「衣類バンク事業」については正規職員はほぼ理解しているが、パート職員の意識は低い。職員全員が福祉職員であることを自覚して、もっと社会への視野を広げ、特に生活困窮者への支援が大切であることを今まで以上に意識していきたい。</p>
12	情報発信について	<p>施設側からの情報発信は概ね出来ている。</p> <p>園だより、保健だより、食育だより等の通常の発信に加え、ホームページを活用した日頃の教育保育活動も伝えられてきていると思う。今後も、日頃の子ども達の様子がわかるようこまめに情報更新していきたい。またそれが地域への情報発信にも繋がっていくと思う。</p>